

# た ち ば な 新 聞

発行所 宝清寺  
〒197-0821  
東京都あきる野市小川101  
電話 042-558-2663

## おの盆

七月十三日、十六日  
本年は七月十七日(水)十一時より、  
本堂にてお施餓鬼法要を厳修致します。  
※お施餓鬼法要にご参加希望の方はたちな新聞に同封  
のハガキにてお申し込み下さい。



訪れた小学六年生四十三人を前に初めて証  
言し、被爆直後の広島光景について「腕の  
皮膚が垂れ下がりがり目を開くこともできない  
人たちが水を求めて歩いてた」と語った。

今年四月二十四日、広島市の原爆投下で被爆した広島市の才  
木幹夫さん(九十二歳)が、ロシアによるウクライナ侵攻など  
を受けて、新たに広島市の「被爆体験証言者」となり、初め  
て、原爆資料館で核兵器の悲惨さを訴えた。

才木幹夫さんは旧制広島中学校の二年生の時、爆心地から  
二、二キロの自宅で被爆した。同じ学校に通う多くの生徒が  
亡くなる中で、自分だけが生き残った後ろめたさを感じ、長  
年、原爆についてほとんど語ってこなかったそうですが、九  
十二歳になり原爆資料館などで被爆体験を語る広島市の「被  
爆体験証言者」となった。

才木幹夫さんによると「証言者」となったのは、ロシアに  
よるウクライナ侵攻があったことなどがきっかけと言う。  
才木さんは二十四日鳥取県から修学旅行で原爆資料館を

## 住職ひと口法話 第七十七回

近年、地震や線状降水帯の影響などの大雨による被害が増  
えている。今日、我々は、世界中に影響を及ぼしている西  
洋の原点「自然を征服できる」との考えに馴れてしまっ  
ていることから「人の力は自然の力に及ばない」と片づ  
けることが多いようだ。しかし、日本人の祖先は自然には  
勝てないので、自然をよく観察して、「自然に順応する」  
ことで、さまざまに変化する自然に対応して生きて来た。  
東京は毎年、夏が台風シーズンだったので、台風の風当た  
りを防ぐ防風林としてケヤキを植えた。ケヤキは落葉高樹  
であり、夏には葉が生い茂り、冬には落葉して枝だけにな  
る。関東以北の冬は長く、必要なのは日照である。常  
緑樹だと、冬も葉が生い茂っていて、風ばかりか光も通さ  
ない。ケヤキは冬の時期は枝だけを残して、葉を落とすか  
ら日光を遮らないので、防風林にケヤキを使用したのだら  
う。今も、五日市街道を包むようにケヤキ並木が林立して

## 宝清寺の年中行事

二月節分	厄除け・星祭
三月彼岸中日	彼岸塔婆供養
四月八日	花まつり(灌仏会)
四月八日	オリエンテンプリン
七月十七日	お盆塔婆供養
七月十七日	施餓鬼法要
九月彼岸中日	彼岸塔婆供養
十月十二日	お盆法要
十二月初旬	お盆金締札

また、終戦後も突然、髪の毛が抜け落ちる人や白血病で亡く  
なる人も多くいたと話したうえで「まだまだ世界の人々は核  
の本当の恐ろしさを実感していません。私たちは本気になっ  
て核の恐ろしさを知っていかなくてはならないと思います」  
と訴えた。

証言を聞いた女子児童は「想像以上に悲惨でした。他の国  
の人たちにも原爆について知ってもらい、どうしたら平和に  
なれるかみんなで考えたいと思いました」と話していた。

才木さんの講演を聞いた女子児童の「どうしたら平和にな  
れるかみんなで考えたい」との思いもむなく、今、ロシア  
・ウクライナ戦争が続く、イスラエル・ハマスの戦争も始ま  
り、不安な世界情勢となっている。

平和は相手を力でねじ伏せ、従わせることでは実現しない。  
平和の語源は「穏やかな状態・静かでのどかな状態」であるが

いるが、先祖の自然への順応である。

「征服」ではなく「順応」する日本人の智慧は、他に  
も、神奈川県鎌倉市の材木座と由比ヶ浜の橋のあるところ  
に、七百年前に作られた防波堤がある。防波堤といえは、  
私たちはすぐにコンクリートの巨大な壁を思い浮かべる。  
これは西洋の防波堤の発想で波力である自然のエネルギー  
を計算し、その力よりも強い壁(防波堤)を作る。「自然  
を征服できる」という発想から生まれた智慧だと思われ  
るが、日本人の先祖は、平たい石の板やごろた石を積み重  
ねて防波堤を十二、八メートルの幅で作った。エネルギー  
のほぼ七十パーセントを分散させ、吸収される仕組みにな  
っている。満潮時にはこの防波堤は海中に没して見ること  
はできないが、相当強い波が来ても、海岸近くでは、ゆっ  
たりと静かな流れに変わってしまった。これは執権北  
条泰時(とき)とき往阿弥という僧を中心にしたもので、和  
賀江ノ堤と呼ばれている。

我々も何時、災害に見舞われるかも知れない。その時の  
ためにも、先人の自然への順応の智慧を見習って、災害時  
の対応を考えておく必要があるのではないだろうか。

「和」の文字からは意味が伝わらない。「和」の旧字は「龢」で  
あり、「龢」(ヤク)と読み、「人間が吐き出す息」を意味し、旁は  
「禾」(カ)と読み「木の管」を意味している。従って、「龢」の  
本来の意味は「禾」の木の管に、「龢」息を吹き込むと様々な  
美しい音色となる。つまり、平和とは「笛のように異質のも  
のがそれぞれの特性を尊重し、生かして響き合うこと」なの  
です。

菊池寛の短篇小説に「恩讐の彼方に」がある。あらずしは  
越後の国柏崎生まれの主人公市九郎は、主人である浅草田原  
町の旗本中川三郎兵衛を斬ってしまった。市九郎は江戸出奔か  
ら三年目の春、自らの罪業に恐れをなし、美濃の国の淨願寺  
の明遍大徳の慈悲によって出家し了海と名乗り、滅罪のため  
全国行脚の旅に出る。享保九年八月赤間ヶ関、小倉を経て川  
沿いにある羅漢寺を目指し、樋田郷に入った市九郎は、難所  
である鎖渡しで、事故によって亡くなった馬子の現場を通り  
かかった。そこで、その難所の岩場を掘削して、事故で命を  
落とす者を救おうと請願を立てる。近在の人は、そんな市九  
郎を狂癖の僧として扱い、見向きもしなかった。月日が経つ  
て十八年目の終わりに、中津藩の郡奉行の計らいにより、よ  
うやく石工を雇って、掘削作業を進めることができるように  
なった。旗本中川三郎兵衛の子中川実之助は、父が死んだ時  
は三歳であった。親類の許で教育され十三歳で父の非業の死  
の顛末を知る。実之助は柳生道場に入門し十九歳で免許皆  
伝、仇討ちのため、二十七歳まで諸国を遍歴し、九州に入っ  
て福岡城下から中津城下に来た。そこで、市九郎と素性が一  
致する了海という僧が、山国川の難所で艱難辛苦の最中であ  
ることを知り、現場に急行する。市九郎は、親の仇を名乗る  
実之助の前で、素直に斬られることを望むが、石工たちが必  
死に止めには入ったため、石工の頭領の計らいで、洞門の開  
通まで仇討ちは日延することになった。実之助は、本懐を遂  
げる日を一日でも早めるべく、石工たちに交じって掘削を始  
めた。市九郎が掘り始めて二十一年目、実之助が来て一年六  
ヶ月、ようやく洞門は開通する。約束通り市九郎は実之助に  
自分を打たせようとするが、市九郎の大慈悲に心を打たれ  
た実之助は仇討ちの心を捨て、市九郎に縋り付いて号泣する  
のだった。

この小説の仇討ちの話はフィクションであるが、洞門の掘  
削の話は実話で、九州の耶馬溪の青の洞門に禅・和尚が手彫  
り掘削に使用した道具が残されている。  
平和は相手の存在を認め合った上で、競争相手として、好  
敵手として切磋琢磨することで成り立つことが、真の平和に  
通ずるのではないだろうか。

# 法華経と私たち 第二十一回

## 常不軽菩薩品 第二十

そのとき釈尊は菩薩に語った。  
 「よく承知しておきなさい。法華経を持つ男女の出家者や在家のものたちに、悪口を言い罵るものたちは、大きな罪の報いを受けるのである。また法華経を持つものの功徳は、眼と耳と鼻と舌と身と意が清らかになるのである。得大勢よ、無量阿僧祇劫のはるかな昔、威音王如来といふ仏がいた。時代は離衰といひ、国は大成といひた。威音王如来は天、人、阿修羅のために法を説き、声聞を求め、ものには四諦の法を説いて、生老、病、死を離れさせ、辟支仏を求め、ものには十二因縁の法を説き、菩薩のためには六波羅蜜の法を説いて、阿耨多羅三藐三菩提にいたる仏智を希求させた。この威音王如来の寿命は四十のガンジス川の砂の数に等しい幾千万億劫であった。正法はこの世界の微塵の数ほど続き、像法は四大州の微塵の数ほど続いた。この仏が入滅したあと、また、威音

王如来という仏が出現し、その後も同じ名の仏が続き、こうして、二十千万億の同じ名の仏が出現したのである。正法が滅したのち、一人の菩薩が現れた。人々はこの菩薩を常不軽と呼んだ。というのも、この菩薩は男であれ女であれ、僧であれ在家であれ、人を見てはみな礼拝し賛嘆して『皆さんわたしはあなたがたを敬います。軽んじません。なぜなら、あなた方は菩薩の道を行じて、仏となるからです』と、經典を誦するばかりであった。会う人々にこのように言うので、人々は怒り出し、しまいに棒で打ち石を投げる有様だった。

の詩句を聞いてことごとく信じ、眼、耳、舌、身、意根が清らになり、命を永らえ、二十千万億年の寿命を得た。そして広く法華経を説いた。かつて菩薩を軽んじ賤しめて常不軽と呼んだ人々は、教えを聞くために集まり、みな菩薩に従った。  
 こうして常不軽菩薩は幾千万億の人々を阿耨多羅三藐三菩提に導いたのである。菩薩は亡くなってから二十千万億という数の日月灯明如来や雲自在燈王如来等、無量の諸仏に会い、供養し敬い、賛嘆して善根を積み如来となつた。そのときの常不軽菩薩はほかにならぬ、わたしの常不軽菩薩は過去世においてこのようにこの経を持ち、読み、誦し、他人のために説いたので速やかに仏になることができたのである。得大勢よ、わたしを軽んじ賤しめた衆生は、二十千万億のあいだに会えなかつたし、一万劫の間阿鼻地獄に墜ちて苦しんだのである。そのときの菩薩を軽んじ賤しめた衆生こそ、今ここにいて、五百の跋陀婆羅の菩薩、師子月の比丘、思仏の優婆塞たちであり、みな阿耨多羅三藐三菩提において退転することのない境界のものたちなのである。得大勢よ、法華経はこのように菩薩たちに利益をもたらした。阿耨多羅三藐三菩提に至らしめるのである。それゆえ如来の入滅ののち、いつも経を持ち、読み、誦し、説き、書写しなければならぬのである。今この法を聞く時を得たのである。

### 「平和への祈りを込めて」 檀家の望月一雄氏 家具の博物館で油絵展開催



昭島市在住の画家望月一雄氏の油絵展が今年の五月三日から二十六日の期間、同市中神町のフランスベトナム工場の「家具の博物館」で開催された。国際博物館の日(五月十八日)の記念事業として、同館が昭島人物紹介展と銘打って企画したもので、家具などを常設展示している同館での油絵展は初めてのこと。私も妻と足を運んだ。望月一雄氏の「平和への祈り」「東日本大震災」「いじめ」「救い」などをテーマにした、3号から120号の大作まで見ごたえのある40点が展示されていた。中でも目を引くのが、米海兵隊の写真家ジョー・オダネルが、長崎に原爆が投下された後に撮影した有名な写真「焼き場に立つ少年」を描いたS30号(91センチ×91センチ)の作品は、望月一雄氏の渾身の大作で高い評価を得た。そのほか、自身の画家としての第一歩となった40年ほど前の「いじめ」シリーズも展示されていた。



今回の油絵展では最新作「無畏」も展示されている。千手観音像をM50号で描いた大作だが、絵の下には平和が戻るようにと様々な願いの言葉を鉛筆で書き入れたと言った。望月一雄氏が「画描きとして、社会で起こっていることを敏感に感じています」と話されたのが印象的だった。



望月一雄氏は立川市役所に勤めながら21歳で水彩画を始め、23歳から油絵に挑戦し始め「旺玄展」に初入選、翌年には「二科展」に入選。1983年には、現代洋画精鋭選抜展で金賞を受賞。

2020年、震災をモチーフにした作品「希望」が特別展「歌会始御題」(式年遷宮記念、神宮美術館)に選ばれ、人間国宝や文化勲章受賞者等、錚々たる作家たちと共に作品が展示された。

## 永代供養墓のお知らせ

前回の記事をご覧になり墓じまいの依頼を受けることが多くなりました。墓じまいの一般的な進め方としては、1、親族の同意を得る、2、お墓の管理者に墓じまいの連絡をする、3、ご遺骨の受け入れ先を決める、4、墓地がある自治体で改葬許可証を発行してもらう、5、墓所の閉眼供養をし、ご遺骨を取り出す、6、墓域を更地にして管理者に返還する(解体、撤去費用が必要)などの手続きが必要になります。宝清寺では、近年におけるお墓の継承問題の改善策として、檀信徒の皆様は、1、**現在のお墓を残す方法**、2、**現在のお墓を撤去し、新設の納骨堂**(「蓮華堂」・「睡蓮堂」)・**樹木葬**「天空・友情の郷」にご遺骨を納骨する二つの方法を提案し、お墓の管理をお寺に任せ、管理料を負担することなく、永代に渡って今までのお墓の管理が可能になり、心おきなく日々をお過ごし頂けます。

### 1、現在のお墓を残す方法

現在ご使用の墓所を「永代供養墓」として残します。その場合、申込書に必要な事項を記入し、永代供養料をご負担いただけますが、その後の管理料は不要で今までの墓参やご供養ができます。

### 2、現在のお墓を撤去し、納骨堂(「蓮華堂」・「睡蓮堂」)・樹木葬「天空・友情の郷」にご遺骨を納骨する方法

今お持ちの墓所を閉眼撤去(解体・撤去費用が必要)し、ご遺骨を納骨堂(「蓮華堂」・「睡蓮堂」)・樹木葬「天空・友情の郷」に改葬し納めます。いずれも申込書に必要な事項を記入いただき、納骨堂は永代供養料・樹木葬は申し込み費用をご負担いただきますが、管理料は不要で今までの墓参やご供養ができます。

## 令和六年度管理料納入のお願い

管理料は、毎年、三月末日が納入期限の前納制になっています。令和六年度までの管理料が未納の方は、早めにお納め頂きますようお願い致します。

### 納入方法

- 一 墓参の折、持参にて納める
- 二 銀行振り込みにて納める

※振り込みの場合の振込先

銀行名	多摩信用金庫	秋川支店
口座番号	普通預金	一五一六二四九
受取人	宗教法人宝清寺代表役員	石井 前琮

### 三 自動払い込みにて納める

※自動払い込みの場合の手続き方法

- ① 自動払い込みはゆうちょ銀行のみです。ゆうちょ銀行に口座をお持ちの方が対象になります。
- ② 自動払い込みご希望の場合は、管理事務所指定用紙をご請求頂き必要事項記入後、最寄りのゆうちょ銀行に提出して下さい。
- ③ 引き落としは、毎年四月二十五日になります。

尚、ご不明な点がございましたら、管理事務所までお問い合わせ下さい。